

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立生涯学習センター
施設所管課・担当	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の生涯にわたる学習活動を支援し、生涯学習の振興を図ることにより、市民の文化と教養を高め、市民生活の向上に寄与することを目的とする。
業務の概要	(1) 生涯学習事業に関する業務 (2) 施設の使用許可に関する業務 (3) 建物及び附属設備の維持保全に関する業務 (4) 施設の総合管理に関する業務 (5) 施設の安全確保に関する業務
成果指標	貸室利用者満足度／事業参加者満足度／貸室利用率
数値目標	貸室利用者満足度：80％以上／事業参加者満足度：80％以上／貸室利用率：各館70％以上
指定管理者名	大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸室利用者満足度	事業参加者満足度	利用率
数値目標	80％以上	80％以上	各館70％以上
年度実績	平均99%	平均93.2%	平均61.2%
達成率	123.8%	116.5%	87.0%

利用状況			
	当年度	前年度	前年度比
利用人数	343,683	235,278	108,405
稼働率	61.2%	53.2%	8.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	173,168,209	193,881,333	40,861,449	感染症の影響による施設利用の減少及び物価高騰等
	計画	132,306,760	132,847,960		
利用料金収入	実績	120,363,190	84,058,630	-41,332,510	感染症の影響による施設利用の減少
	計画	161,695,700	161,194,100		
その他収入 （自主事業収入）	実績	29,074,848	22,393,036	-6,109,352	感染症の影響による施設利用の減少
	計画	35,184,200	35,184,200		
合計	実績	322,606,247	300,332,999	-6,580,413	
	計画	329,186,660	329,226,260		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	172,951,624	169,930,807	-5,147,836	効率的な業務執行体制の構築、超過勤務の縮減等
	計画	178,099,460	178,099,460		
物件費	実績	127,433,248	113,442,923	2,752,848	物価高騰による需用費および消費税の増加、貸室用椅子脚破断による更新(約130台)
	計画	124,680,400	130,720,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	22,221,375	16,959,269	-4,185,425	事業実施手法の工夫による支出の減
	計画	26,406,800	20,406,800		
合計	実績	322,606,247	300,332,999	-6,580,413	
	計画	329,186,660	329,226,260		

令和 4 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（１次評価）
（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室利用者満足度80%以上	123.8%	S	貸室利用者アンケートにおいて、施設利用の満足度に関する設問に「満足」「おおむね満足」と回答した割合は合わせて98.6%（参考 令和３年度：98.2%）
事業参加者満足度80%以上	116.5%	A	事業参加者アンケートにおいて、事業の満足度に関する設問に「大変良かった」「良かった」と回答した割合は合わせて93.2%（参考 令和３年度：92.7%）
貸室利用率：各館70%以上	87.0%	C	感染症拡大の影響による利用控えに伴い利用率が減少し、３館平均年間利用率は70%を下回ったものの、61.2%と前年度に比べ大きく増加した。 （参考 令和３年度：53.2%）

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
効率的な業務執行体制の構築による人件費の抑制、配信の活用による講師謝礼金の削減による事業費の節減など、当初計画より支出を縮減（補填以外：約658万円縮減）	B	感染症拡大による施設利用の減少及び物価高騰等による収支差を基本協定書の取扱いに基づき市費で補填。補填額分の市費が増加したが、補填以外では、支出の縮減に努めている。感染症拡大による収入減・急激な物価の高騰による支出の増については不可抗力と考える。

（３）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	S	貸室利用者アンケートでは、職員の対応は「良い」「おおむね良い」が合わせて98.6%と、利用者に対する平等・公平な対応がうかがえ、平等利用の確保が適切に行われている。
事業計画の実施状況	A	感染症拡大防止にかかる臨時休館や時短要請等の厳しい状況にも関わらず事業計画書及び協定書・仕様書に則り、オンライン実施に切り替える等により求められた水準で実施できている。
施設の有効利用	S	感染症拡大防止による集客減等の厳しい状況にも関わらず、NPO・市民活動助成をはじめ各機関・法人との連携に取組み、施設機能を活かした事業が適切に実施されている。
社会的責任・市の施策との整合性	B	障がい者雇用の取組みや人権研修をはじめ各種職員研修の実施など、社会的責任を果たすべく努め、また、環境保護対策もしっかりなされている。しかしながら今年度は領収書兼許可書の交付にかかる事務処理誤りが2件発生した。同種の事故の連続発生は看過しがたいものである。

5 利用者ニーズ・満足度等

【利用者ニーズ・満足度等の把握】
・貸室利用者アンケート：11月に館ごとに実施。（各館の有効回答数： 総合：274、阿倍野：150、難波：150 計574）
事業参加者アンケート：事業ごとに実施。（各館の有効回答数 総合：3,817、阿倍野：2,528、難波：2,025 計8,370）
・貸室利用者アンケートでは、施設利用の満足度は「満足」「おおむね満足」が合わせて98.6%、事業参加者アンケートでは、事業の満足度は「大変良かった」「良かった」が合わせて93.2%と、顧客満足度の高い安定的なサービスが提供されている。

6 外部専門家意見

事業については先駆的な内容をテーマに講座やワークショップを積極的に実施している。参加者アンケートからは、学習によって受講者が変わるきっかけになったことがうかがえる。また市民グループ同士をつなぐ活動を続けるなど、積極的に社会教育の活性化へ向けた活動をしている。これらのことは大いに評価でき、今後についても意欲的に事業展開を図るよう期待する。 利用率はまだ回復には至っていないが、リモート等で多くの参加者を集めるなど「施設に集う」以外の部分で事業展開することも、生涯学習のひとつの形であり、今後生涯学習支援の要素としますます求めらる。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	コロナ禍からの復調の兆しが見え、各項目とも令和2年度から令和3年度にかけてよりも、令和3年度から令和4年度にかけての方が増加の幅が大きい。引き続き、回復をめざしてほしい。
市費の縮減	B	利用者の多くをしめる高齢者に対して外出自粛の要請があり、利用料金収入に影響を及ぼした。経費縮減に努力のあとうかがえるが、市費により補填せざるを得ない状況となった。 しかしながら補填額については令和3年度補填額から3割強の減となっている。
管理運営の履行状況	B+	・感染症対策等にも市と連携しつつ遺漏なく取組んでいた。 ・施設管理において、こまめな点検をおこない大きなダメージに至らない修繕箇所を早期に見つけるなど利用者が安心・安全に生涯学習活動に取り組めるよう努めている。 ・領収書兼許可書の交付にかかる事務処理誤りがあったことは遺憾であり、今後の再発防止を求める。 ・施設の設置目的を理解したうえで、質の高い学習内容を市民に提供し、本市が生涯学習施設に求める役割を十分果たしている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	